

平成 23 年 1 月 5 日

**理事候補者選挙結果のお知らせ**中央選挙管理委員会  
委員長 吉田 勉

(社)日本産業衛生学会定款および役員選出規程に則る理事候補者選挙が各地方会にて行われた結果、平成 23 年度～25 年度任期の理事候補者および地方会長については以下になりましたので選挙管理委員会に関する細則第 5 条によりご報告致します。また以上の結果を役員選出規程に則り理事長に平成 23 年 1 月 5 日付けで報告いたしました。

このお知らせは平成 23 年 1 月 7 日付けにて学会ホームページに公開されます。

**理事候補者 (計 30 名)**

相澤好治	圓藤吟史	大久保靖司	大前和幸
大脇多美代	萩野景規	加藤 元	岸 玲子
清田典宏	車谷典男	小林章雄	五味秀穂
斉藤政彦	菅沼成文	住徳松子	諏訪園 靖
角田 透	中川秀昭	中路重之	昇 淳一郎
野見山哲生	畑中純子	原田規章	東 敏昭
広瀬俊雄	廣部一彦	堀江正知	宮本俊明
柳澤裕之	吉田 勉		(五十音順)

**(参考) 次期地方会長**

北海道地方会	岸 玲子
東北地方会	中路重之
関東地方会	角田 透
北陸甲信越地方会	中川秀昭
東海地方会	小林章雄
近畿地方会	車谷典男
中国地方会	原田規章
四国地方会	菅沼成文
九州地方会	川本俊弘

## 平成 22 年度実施 代議員選挙結果の報告

平成 22 年 10 月 31 日  
中央選挙管理委員会  
委員長 吉田 勉

代議員選挙を実施しましたのでその結果を掲載します。

(北海道)

相澤和幸	川崎能道	河原田まり子	岸 玲子	清田典宏	小林麻美	西條泰明	佐藤修二
佐藤広和	鳴海志織	三宅浩次	宮崎由美子	森 満	横尾由紀子	吉岡英治	吉田順子
吉田貴彦	(以上 17 名)						

(東北)

板井一好	井上瑞江	色川俊也	岩田豊人	小野田敏行	加藤清司	木田和幸	工藤康嗣
黒澤 一	黒田真理子	坂田清美	佐藤 洋	菅原 保	只埜則恵	立身政信	中路重之
中塚晴夫	中屋重直	広瀬俊雄	福島哲仁	福原智子	村田勝敬	本橋 豊	山内 徹
渡辺孝男	(以上 25 名)						

(関東)

相澤好治	相磯成敏	青木千秋	秋澤幸子	浅沼一成	浅谷綾子	飛鳥田一朗	安達修一
安達元明	阿部当子	網中雅仁	新居智恵	荒木明宏	荒記俊一	荒武 優	飯島美世子
五十嵐千代	生駒賢治	石川知美	石川良樹	石山明美	出江真弓	一木ひとみ	市橋 透
伊東信彦	伊藤雅代	稲垣弘文	井上和男	今井常彦	岩崎健二	上村隆元	鶴澤龍一
内山寛子	穎川一忠	江藤留美子	遠藤暁子	及川孝光	大石充宏	大賀昌美	大久保靖司
大越裕文	太田久吉	大西 守	大橋 力	大前和幸	大谷由美子	大山典明	大脇和浩
岡崎香波	岡田睦美	岡本博照	小川 健	小川利隆	奥田裕計	奥野 勉	奥山早苗
起 由美	小此木英男	尾崎哲則	尾崎睦美	小田切優子	小野田富貴子	戒田敏之	柿沼 歩
笠原悦夫	笠間康子	加地正伸	加藤 元	加藤繁夫	加藤憲忠	金澤和美	加部 勇
鎌田郁子	荻田香苗	川上憲人	川田智之	菅野章子	菅野誠一郎	木内夏生	菊池 悟
菊地 央	北原佳代	北村文彦	橋川志延	城戸尚治	木伏美和	日下恵里	久保恵子
栗山典子	黒木宣夫	黒田玲子	香田繁雄	甲田茂樹	河野啓子	後藤興四之	小林悦子
小林邦子	小林 浩	小林寿子	小林廉毅	小林祐一	五味秀穂	小峰慎吾	斉藤利恵
阪本要一	櫻澤博文	桜庭幸夫	佐々木好幸	佐藤暁音	佐藤左千子	佐藤真一	佐藤裕司
佐野麻里子	澤田晋一	品田佳世子	柴崎智美	島津明人	島田直樹	清水隆司	清水英佑
清水靖仁	清水能一	下光輝一	下山満理	須賀万智	杉澤誠祐	杉山あけみ	鈴木公典
鈴木勇司	鈴木美子	角南祐子	諏訪園靖	関口千春	高木一郎	高田礼子	高橋由紀子
高宮朋子	瀧本みお	田久保尚子	竹内武昭	竹内廣己	武澤千尋	竹田悦子	武田桂子
武田聖子	竹田 透	竹田美代	武林 亨	立道昌幸	田中克俊	田中希実子	田中久巳彦
田中 茂	田中美樹	田中三千代	田中由紀夫	谷山佳津子	千葉百子	千代田亘弘	津久井一平
辻 順子	筒井久子	角田 透	寺田勇人	照屋浩司	徳田知子	利根川豊子	土肥誠太郎
中明賢二	中尾睦宏	永島昭司	中田 暁	中館俊夫	中野愛子	長野嘉介	中野幸子
中原慎二	中山美和子	名越温古	名古屋俊士	成田恵子	錦戸典子	西郡晴美	西埜植規秀
二ノ宮京子	能川浩二	能川和浩	野崎雅美	野崎律子	能勢俊一	野田一雄	野田治代
野村恭子	橋本敏美	畑 仁	畑中純子	浜口伝博	濱田篤郎	早川敏雄	林 恵子
林 知子	原 邦夫	原谷隆史	東 尚弘	東川麻子	深澤健二	深沢規夫	福島葉月
福田笑子	福田 洋	福田雅臣	福本正勝	藤井 効	藤田郁代	藤田雄三	船渡川伊久子
古澤真美	古谷たき子	星野寛子	星原芳雄	細谷龍男	堀口 誠	牧 信子	増澤清美
榎元 武	松井知子	松岡かおり	松岡雅人	松木一美	松田かおり	松田敏裕	真鍋恵子
三澤多恵子	三橋千代子	三村将文	宮内博幸	宮川 寛	宮川宗之	宮越雄一	宮崎 孝
宮本俊明	三由恵実子	三輪祐一	武藤孝司	村上朋絵	村松 淳	毛利一平	本吉光隆
森智恵子	森田哲也	森本英樹	谷下田利枝	柳澤裕之	矢野栄二	山内 博	山口美紀
山澤文裕	山田優子	山 龍 一	山中 理	山野優子	山内直人	山本健也	山本五月
湯口恭利	湯原幹男	横田和彦	横山和仁	吉岡早戸	吉岡玲奈	吉川 徹	吉住次恵
吉田明子	吉田泰行	吉野俊美	李 卿	和田耕治	和田高士	渡辺 哲	渡部真弓
(以上 280 名)							

(北陸甲信越)

青島恵子	赤羽正子	東 貢	荒井正雄	飯塚康彦	石崎昌夫	伊藤英章	稲寺秀邦
井上勝六	梅村朋弘	大橋信也	鏡森定信	加須屋実	金子 誉	城戸照彦	日下幸則
興栢建郎	小山善子	佐藤章夫	菅根一男	高橋英尚	田畑正司	塚原照臣	津田洋子
中川秀昭	中平浩人	長沼 毅	野口美代子	野見山哲生	服部 真	松澤幸範	松原六郎

三好義光 (東海)	森河裕子	(以上 34 名)					
青山京子	赤津順一	赤松康弘	足立留美子	飯田和子	石川浩二	市原 学	市丸麻衣子
井奈波良一	岩田全充	内野文吾	梅津美香	浦上年彦	榎原 毅	大久保浩司	尾島俊之
小野雄一郎	加藤桂三	加藤隆康	金山敏治	上島通浩	倉田千弘	栗田秀樹	黒川淳一
五藤雅博	後藤由紀	後藤義明	小西美智子	小林章雄	齊藤政彦	酒井秀精	酒井康子
榊原久孝	柴田英治	白石知子	杉本日出子	住吉健一	そうけ島茂	高崎正子	高橋悦子
高柳泰世	竹内康浩	城 憲秀	巽あさみ	谷脇弘茂	土屋眞知子	寺澤哲郎	中元健吾
那須民江	新島邦行	西賢一郎	西谷直子	野木孝眞	久永直見	福井 明	堀 礼子
牧野茂徳	宮尾 克	武藤繁貴	村崎元五	村田真理子	山田琢之	吉田 勉	和田晴美
渡邊美寿津 (近畿)	綿貫ルミ子	(以上 66 名)					
相場まり子	有西幸子	伊木雅之	猪阪善隆	石山珠江	出雲谷恭子	井手陽子	井殿雅子
伊藤正人	井上幸紀	岩根幹能	上坂聖美	上田美代子	上原新一郎	植原秀和	圓藤吟史
圓藤陽子	大橋 誠	大脇多美代	岡田 章	岡田 章	岡田邦夫	尾崎利美	垣本洋希
鍵谷俊文	梶山泰男	加藤俊夫	金山周次	竈門敬二	河合俊夫	北原照代	北村栄作
木村 隆	清田郁子	葛目百合	久保とし子	久保田昌詞	車谷典男	小泉昭夫	河野公一
後藤浩一	酒井英雄	阪上皖庸	鯨島真理子	志摩 粹	島 正之	鈴木純子	園山 明
埜田和史	竹下達也	竹林真智子	竹村 芳	田尻 忍	辰巳佳次	田中茂美	田中紀子
田邊 淳	谷口智子	田内 潤	津田恵理	堤 梨恵	寺澤嘉之	土手友太郎	富岡公子
富永なおみ	豊川彰博	中井 栄	長澤孝子	中嶋千晶	中島美繪子	中谷久美子	中西一郎
那須輝史	夏目 誠	並河 啓	西内恭子	西尾久英	野村 誠	萩原 聡	長谷川恭一
濱谷川健	濱田千雅	林佐栄子	林 朝茂	原田昌子	引石文夫	日野 孝	平田真以子
広田昌利	廣部一彦	福田昌宏	藤岡滋典	伏見尚子	藤森次勝	寶学英隆	朴 永大
細谷詩子	堀口俊一	本田美佐子	前久保邦昭	前納健二	益江 毅	榊屋義雄	松井治子
松岡陽太郎	松澤佑次	松田裕子	松本泉美	丸山総一郎	三浦克之	宮上浩史	宮下和久
森岡郁晴 (中国)	山田誠二	山田義夫	横川朋子	(以上 116 名)			
石川 紘	石田恭子	井手 宏	宇多真一	宇土 博	汪 達紘	大槻剛巳	大庭容子
荻野景規	奥田昌之	小田正秀	落合のり子	岸本拓治	岸本卓巳	絹見佳子	小林敏生
篠藤ひとみ	塩飽邦憲	田口豊郁	坪田信孝	道明道弘	原田規章	福岡悦子	舟橋 敦
芳原達也 (四国)	細本清子	松山須美子	村上優子	山本秀樹	鎗田圭一郎	(以上 30 名)	
岡本愛子	近藤亨子	菅沼成文	杉原由紀	竹崎雅之	多田敏子	谷川 武	昇淳一郎
藤井智恵子 (九州)	横本宏子	丸茂晃裕	安田誠史	脇谷小夜子	和田安彦	(以上 14 名)	
青木一雄	青野裕士	青柳 潔	有吉浩美	石竹達也	石原逸子	市場正良	井手玲子
今村桃子	弥富美奈子	大神 明	大森久光	織田 進	小山一郎	梶木繁之	加藤貴彦
茅嶋康太郎	川波祥子	河村 裕	川本俊弘	神代雅晴	黒田嘉紀	佐藤しのぶ	佐藤祐佳
佐土原浩子	柴戸美奈	住徳松子	高波利恵	高橋 謙	滝川恵子	竹内 亨	田中勇武
田中節子	田中雅人	筒井保博	堤 明純	中尾由美	長岡清子	永田頌史	中谷淳子
中之蘭美紀子	西田和子	八谷百合子	東 敏昭	日野義之	平山良克	廣 尚典	福光ミチ子
藤代一也	寶珠山務	保利 一	堀江正知	松田晋哉	三角順一	明星敏彦	森 晃爾
森本泰夫	八幡勝也	山口淑恵	山下珠美	山城愛子	大和 浩	(以上 62 名)	

## 第 84 回日本産業衛生学会 (第 5 報)

第 84 回日本産業衛生学会 企画運営委員長 角田 透

第 84 回日本産業衛生学会に関するプログラムの詳細および学会運営等に関する事項は、学会ホームページ (<http://jsoh84.umin.jp/>) に順次掲載いたします。定期的な確認を宜しくお願いいたします。今回は CD-ROM 版講演集・プログラム冊子を事前にお送りすることは予定していません。講演集の内容およびプログラムについては、4 月中旬頃を目処に Web 上でダウンロード可能なように準備いたします。なお、産業衛生学雑誌第 53 巻臨時増刊号 (第 84 回日本産業衛生学会講演集) は、学会会期中、受付にて配布いたします。臨時増刊号には CD-ROM 版講演集も付属いたします。学会会期中に受付で講演集を受け取ることができない会員、あるいは学会には参加できないが講演集の入手を希望する会員は、学会ホームページより手続き等をお願いいたします。

1. 会 期：学 会 平成 23 年 5 月 18 日 (水) ~ 20 日 (金)  
特別研修会 平成 23 年 5 月 21 日 (土)

2. 会 場：  
ニューピアホール (東京都港区海岸 1-11-1)  
ホテルアジュール竹芝 (東京都港区海岸 1-11-2)  
東京都立産業貿易センター浜松町館 (東京都港区海岸 1-7-8)  
シーサイドホテル芝弥生 (東京都港区海岸 1-10-27)

3. 企画運営委員長：角田 透 (杏林大学医学部 教授)

4. メインテーマ：働くということと産業保健  
— その原点に還って —

5. 企画概要 ※演題名、演者とも変更の可能性があります  
特別講演：

・「Health, Work and Wellbeing — are we making progress? (健康, 仕事, そして幸福: 英国における対策の現状と課題)」

Carol Black (National Director for Health and Work, UK)

招待講演：

・「Overview of positive psychology and psychologically healthy work place.」

Christopher Peterson (Michigan Univ., USA)

・「Positive interventions and techniques that can be used to build and maintain psychologically healthy work place.」

Nansook Park (Michigan Univ., USA)

教育講演：

・「産業保健従事者のための結核管理の state-of-the-art」  
森 亨 (結核研究所)

・「健康会計の意義と活用」奥 真也 (会津大学)

・「暑熱ストレスの健康影響とその予防」

堀江正知 (産業医科大学)

シンポジウム：

・「これからの産業保健は労務管理とどうかかわっていくのか」

・「ディベート：うつ状態の労働者の休業を巡って～勤務させるべきか、休ませるべきか」

・「運輸業務従事者の労働衛生管理～健康管理、労務管理を踏まえて」

・「健康診断に関するエビデンスと健康診断の今後」

・「産業保健職とマネジメントスキル～習得のための教育技法を巡って」

・「医療従事者の健康的な働き方を目指して～看護師の過重労働・シフトワーク対策を中心に」

・「受動喫煙防止対策の義務化の影響について」

・「職場における化学物質管理のあり方をめぐって～新しい視点に立った化学物質管理のフレームワーク」

イブニングシンポジウム：

・「メンタルヘルスと健康診断」 産業精神衛生研究会

・「加齢とワークアビリティ～産業医としての関わり」

エイジマネジメント研究会

・「職種における栄養改善から取り組む生活習慣病対策～従

業員食堂を積極的に活用して取り組む」 産業栄養研究会

・「世界に広がる参加型産業安全保健ネットワークの国際潮流」 労働衛生国際協力研究会

・「産業化学物質におけるばく露、生物学的モニタリング、毒性評価 (実験・疫学) における新たな取り組みと今後の化学物質管理」 有機溶剤中毒研究会, 生物学的モニタリング・バイオマーカー研究会

・「関東地方の労働衛生史」 労働衛生史研究会

その他、一般口演、ポスター展示・発表を予定しています。また、総会、各種の部会・委員会、学会賞・奨励賞受賞講演、研究会、フォーラム、ランチョンセミナー、イブニングセミナー、企業展示、書籍展示なども予定しています。」

### 6. 参加登録

学会参加費、出題費、懇親会費ならびに特別研修会参加費の事前登録 (お支払い) は、産業衛生学雑誌 (第 52 巻 5 号 9 月号) に綴じ込みの「郵便払込取扱票」をご利用ください。郵便払込取扱票は、1 人 1 枚の使用に限ります。なお、本票の追加につきましては、登録事務局 (JTB コミュニケーションズ) にファックスまたはメールにてご請求ください。原則として登録後の返金はいたしませんので、ご注意ください。

#### ①学会参加費

事前登録は平成 23 年 2 月 25 日 (金) までとします。ただし、筆頭発表者で演題採否の通知後 10 日以内にお支払いいただく場合は、事前登録の金額で扱います。

#### ■学会員

事前登録：8,000 円

(平成 23 年 2 月 25 日 (金) まで：筆頭発表者以外の方)

当日登録：10,000 円

(事前登録の締切以降は当日受付でお支払いください)

事前登録をされた方には、学会開催の 1 週間前までに参加票を郵送いたします。

#### ■非学会員

10,000 円

#### ②出題費

1 題につき 2,000 円

筆頭発表者が必ず学会参加費とともに「郵便払込取扱票」を用いて演題採否の通知後 10 日以内にお支払いください。

#### ③懇親会費 (会員・非会員共通)

10,000 円

懇親会会場は 500 名の定員制となっておりますので、定員になり次第締め切ります。申込の受付は先着順といたします。筆頭発表者は、ホームページ上で演題申込を行う際に、懇親会申込の登録が可能です。

#### ④特別研修会

特別研修会および産業看護部会特別研修会については、産業衛生学雑誌本号 (第 53 巻 1 号) および第 84 回日本産業衛生学会のホームページ (<http://jsoh84.umin.jp/>) にてご案内いたします。

## 7. 演題申込および抄録原稿受付

一般演題の申込および抄録原稿の受付は終了いたしました。多数のお申込をいただき、ありがとうございました。なお、その採択につきましては、筆頭発表者にメールにてお知らせいたします。発表形式がご希望と異なる場合もありますが、ご容赦ください。採択された全演題のうち、プログラム委員会により口演が適当と評価された演題は、口演発表していただきます。さらに口演発表の演題の中から優秀演題賞を事前に選定し、発表時に企画運営委員長名で表彰を行います。採否および発表形式は、平成23年3月中に通知いたします。演題採択につきましては、学会プログラム委員会にご一任願います。

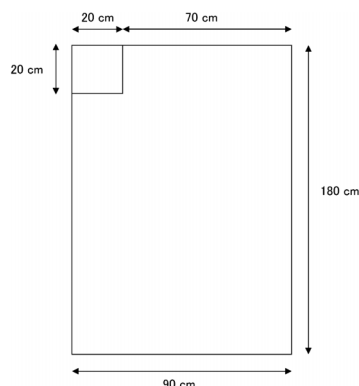
※口演発表およびポスター発表の形式（時間、サイズなど）については、後日第84回日本産業衛生学会のホームページ（<http://jsoh84.umin.jp/>）および産業衛生学雑誌（第52巻6号11月号）に掲載いたします。

## 8. 発表方法（一般演題）

※口演発表およびポスター発表の形式（時間、サイズなど）の詳細については、後日第84回日本産業衛生学会のホームページ（<http://jsoh84.umin.jp/>）に掲載いたします。

### 【ポスター発表】

ポスター展示スペースは、1演題につき、横90cm×縦180cmです。左上部の横20cm×縦20cmの部分には事務局で演題番号を貼り付けます。右上部（横70cm×縦20cm）にタイトルを、その下に本文を提示してください。



### 【口演発表】

- ①口演発表の時間は口演10分、討論（質疑応答）5分です。
- ②講演集を用いた発表に加え、パワーポイントによるPC発表のみ可能です（OHP、スライドは不可）。パワーポイントはWindows版のMicrosoft PowerPoint 2000以上で作成してください。Macで作成したデータは受け付けられません。
- ③PCによるプレゼンテーションは演台にセットされているモニター、キーボード、マウスを使用し、演者ご自身による操作をお願いします。

- ④発表データの受付方法については、第84回日本産業衛生学会のホームページ（<http://jsoh84.umin.jp/>）にてご確認ください。

## 9. 懇親会

日時：平成23年5月19日（木）19：30～21：30分  
会場：東京湾クルージング・レストランシップ「ヴァンテアン」での懇親会となります。ホテルアジュール竹芝より徒歩すぐの竹芝棧橋より出航します。

### ご留意点

※東京湾クルーズのため途中退出することができません。あらかじめご了承ください。

※飲食物のお持込はお断りしています。

懇親会費：10,000円（会員・非会員共通）

※東京ヴァンテアンクルーズは500名の定員制となっておりますので、定員になり次第締め切りとさせていただきます。またお申込の受付は先着順とさせていただきます。

## 10. 研修単位の認定

特別研修会以外に、日本医師会認定産業医制度による単位認定を申請予定です。

日本産業衛生学会産業看護師：産業看護職継続教育システム・実力アップコースの単位認定を申請予定です。

## 11. 今後のスケジュール概要

機器展示・書籍展示・広告申込締切：

平成23年2月25日（金）

学会参加・懇親会・特別研修会事前申込締切：

平成23年2月25日（金）

（ただし、筆頭発表者で演題採否の通知後10日以内にお支払いいただく場合は、事前登録の金額で扱います）

## 12. 宿泊

宿泊申込方法については、第84回日本産業衛生学会のホームページ（<http://jsoh84.umin.jp/>）に掲載いたします。宿泊を希望される方は、ホームページにて詳細をご確認ください。

## 13. 連絡先

### ① 本部事務局

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2  
杏林大学医学部 衛生学公衆衛生学教室内  
第84回日本産業衛生学会事務局  
TEL：0422-47-5512 内線3454  
FAX：0422-44-0841  
E-mail：jsoh84@ks.kyorin-u.ac.jp

### ② 登録事務局（事務局代行）

〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-10  
梅田ダイビル4階  
株式会社JTBコミュニケーションズ  
コンベンション事業局内  
第84回日本産業衛生学会 登録事務局  
E-mail：jsoh84@jtbcom.co.jp  
TEL：06-6348-1391 FAX：06-6456-4105

## 第 84 回日本産業衛生学会・特別研修会のご案内

### 日本産業衛生学会特別研修会

1. 日 時：平成 23 年 5 月 21 日（土） 9：00～15：40
2. 会 場：ニューピアホール（東京都港区海岸 1-11-1）
3. 研修単位の認定  
日本医師会認定産業医制度 産業医学研修会 生涯研修専門 5 単位申請中  
日本産業衛生学会産業看護師：産業看護職継続教育システム・実力アップコース申請予定
4. メインテーマ：身体疾患の多様な職場復帰支援を考える  
講演 1：職場における脳血管障害の対策—職場復帰を中心に  
星野晴彦（慶應義塾大学医学部 神経内科・脳血管障害予防医学講座 准教授）  
講演 2：高次脳機能障害からの職場復帰支援—障害者職業センターの取り組みを中心に  
田谷勝夫（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター 主任研究員）  
講演 3：職場における腰痛と関連疾患の対策—職場復帰を含めて— 村上太三（JFE スチール 産業医）  
講演 4：がん治療を受ける本人と家族が抱える就労問題—産業保健スタッフに期待すること—  
高橋 都（獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座 准教授）  
講演 5：がん患者の職場復帰と就労支援について—腫瘍内科医の立場から— 金 容老（聖隷浜松病院 化学療法科 部長）  
※演題名、演者とも変更の可能性があります
5. 受講資格：認定産業医
6. 受講料：事前支払  
●日本医師会認定産業医制度産業医学研修単位を必要とする学会員  
事前登録：8,000 円，当日登録：10,000 円  
●非学会員：10,000 円  
●認定産業医の単位が不要の方：7,000 円  
原則として、登録後の返金はいたしませんので、ご注意ください。また、平成 23 年 2 月 25 日（金）をもって郵便振替は終了いたします。
7. 参加申込：産業衛生学雑誌（第 52 巻 5 号 9 月号）に綴じ込みの郵便払込取扱票でお支払い下さい（郵便払込取扱票は 1 人 1 枚の使用に限りです）。本票の追加につきましては、登録事務局（JTB コミュニケーションズ）にファックスまたはメールにてご請求ください。  
通信欄に「特別研修会参加費」の項目がありますので、ご利用下さい。平成 23 年 2 月 25 日（金）までに申し込まれた方には、学会開催の 1 週間前までに参加票を郵送いたします。  
非学会員で参加を希望される方は、平成 23 年 2 月 25 日（金）までに郵便振替にて登録・支払いを行って下さい。口座番号および口座名称は下記の通りです（通信欄に「特別研修会参加申込」と明記して下さい）。  
口座番号：00110 - 4 - 766033，口座名称（加入者名）：第 84 回日本産業衛生学会
8. 事前登録の申込締切：平成 23 年 2 月 25 日（金）  
上記締切以降の申込および当日登録のお問い合わせは、登録事務局（JTB コミュニケーションズ）へお願いいたします。

### 日本産業衛生学会・産業看護部会特別研修会

1. 日 時：平成 23 年 5 月 21 日（土） 9：00～12：00
2. 会 場：シーサイドホテル芝弥生（東京都港区海岸 1-10-27）2 階 あかつき
3. 研修単位の認定  
日本産業衛生学会産業看護師：産業看護職継続教育システム・実力アップコース申請中
4. メインテーマ：職場巡視と作業環境測定の実際 ～作業環境改善に役立つ巡視のポイントと演習～
5. 講 師：加部 勇（古河電気工業（株）統括産業医，労働衛生コンサルタント）  
岩崎 毅 先生（興研労働衛生コンサルタント事務所 所長）
6. 内 容：講義と演習
7. 受講料：当日支払となります。学会員 3,000 円（非会員 4,000 円）
8. 参加申込：学会 HP よりオンラインで申込みを受け付けます。
9. 事前申込の締切：平成 23 年 3 月 31 日（木） \*定員になり次第、締め切ります。  
上記締切以降の申込および当日登録のお問い合わせは、登録事務局（JTB コミュニケーションズ）へお願いいたします。

#### 登録事務局（事務局代行）

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 4 階  
株式会社 JTB コミュニケーションズ コンベンション事業局内  
第 84 回日本産業衛生学会 登録事務局  
E-mail：js0h84@jtbcom.co.jp  
TEL：06-6348-1391 FAX：06-6456-4105

## 第 21 回日本産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会 (第 1 報)

1. 会 期：2011 年 11 月 23 日 (水)・24 日 (木)・25 日 (金)・26 日 (土)
2. 会 場：アクロス福岡 (〒 810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1 丁目 1-1)
3. 企画運営委員長：織田 進 (福岡産業保健推進センター所長)
4. メインテーマ：「社会基盤としての産業保健活動」
5. 連絡先：事務局代行  
〒 807-0822 北九州市八幡西区瀬板 1-16-1  
株式会社アクシス内  
TEL：093-603-8786, FAX：093-692-3003  
e-mail：ncopn21@axis.co.jp  
URL：http://ncopn21.umin.jp/index.html

今後、産業衛生学雑誌および上記ホームページ等で、詳細を順次公開していきます。

## 第 22 回中韓日産業保健学術集談会

### The 22nd China Korea Japan Joint Conference on Occupational Health

- 会 期：2011 年 5 月 26 日 (木)～28 日 (土)  
場 所：Jinan Nanjiao Hotel 中国山東省済南市  
URL: www.jnnjhotel.com
- テーマ ～ シンポジウム：Aging Workforce ワークショップ：Occupational Stress  
締 切 日 (下記事務局必着)
- 演 題：2011 年 4 月 15 日 (金)  
抄 録：2011 年 4 月 30 日 (土)  
参加登録：2011 年 5 月 6 日 (金)
- 参 加 費：一般 US\$200 学生 US\$100 同伴 US\$80 \*当日会場にて受付
- 学 会 長：Wang Sheng (王 生) 北京医科大学教授  
日 本 側 代 表：大久保利晃 (財)放射線影響研究所 理事長/元・産業医科大学学長  
事 務 局 長：東 敏昭 産業医科大学産業生態科学研究所 作業病態学研究室教授  
事 務 局：森本泰夫 産業医科大学産業生態科学研究所 呼吸病態学教授  
申 込 先：産業医科大学産業生態科学研究所 作業病態学研究室  
〒 807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1  
TEL: 093-691-7470 / FAX: 093-601-2667  
E-mail: kjcjc@mbox.med.uoeh-u.ac.jp  
URL: http://wshivx.med.uoeh-u.ac.jp/kjc/ index.html

## 第2回日韓地域看護学会 共同学術集会のご案内

- **メインテーマ**：Challenge and Innovation on Community Based Nursing
  - **期 日**：平成23年7月17日（日）・18日（月・祝日）
  - **会 場**：神戸市看護大学 神戸市西区学園西町3-4（市営地下鉄学園都市駅徒歩10分）
  - **主 催**：日本地域看護学会 韓国地域看護学会
  - **後 援**：兵庫県看護協会
  - **プログラム概要**：
    - 基調講演「コミュニティを基盤とした看護の挑戦」  
演者：金川克子（神戸市看護大学）  
Yun Soon Nyounng (Seoul National University)
    - 特別講演「我が国の日常性と健康観」  
演者：上羽康之（神戸百年記念病院）
    - シンポジウム1「ヘルスプロモーションに向けた健康な地域づくり」  
演者：大森純子（聖路加看護大学） 内野栄子（神戸市保健福祉局）  
Kim Cung Nam (Keimyung University) Yang Soon Ok (Hallym University)
    - シンポジウム2「地域を基盤とした看護活動の新たな挑戦」  
演者：小西かおる（昭和大学） 川添高志（ケアプロ株式会社）  
June Kyung Ja (Soonchunhyang University)  
Kim Soon Lae (The Catholic University of Korea)
    - 情報交換会1『高齢社会における日韓介護保険事情』  
演者：堀井とよみ（NPOみなくち）  
Kim Jung Soon (Pusan National University)
    - 情報交換会2『子どもの健康を守る保健活動～関係機関との協働～』  
演者：上野昌江（大阪府立大学） Han Mi Lan (Ewha Girls' High School)
    - 一般演題（口演・示説）  市民公開講座  懇親会
- \*基調講演，特別講演，シンポジウムは同時通訳，情報交換会は逐次通訳を予定しています。

### ■ 演題応募について

申し込み受付期間：平成23年1月11日（火）～平成23年3月14日（月）

### ■ 学術集会の参加申し込み

#### 【参加費】

	事前登録（5月末日まで）	当日登録（6月1日以降）
会 員	23,000円	25,000円
非 会 員	25,000円	28,000円
学 生	4,000円	4,000円
同 行 者	7,000円	7,000円
大学院生	学生でのお取り扱いは致しません。会員または非会員でお申込み下さい	

\*参加費には，7月16日に開催されます第14回日本地域看護学会理事会セミナーへの参加費もふくまれています。\*学会参加者には昼食を準備しております。

【申込み方法】ホームページ（URL: <http://square.umin.ac.jp/jkjcchn2/index.html>）をご覧ください。

### ■ お問い合わせ先：

【第2回日韓地域看護学会共同学術集会事務局】

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学 地域・在宅看護学分野  
E-mail: [jkjcchn2@tr.kobe-ccn.ac.jp](mailto:jkjcchn2@tr.kobe-ccn.ac.jp) FAX：078-794-8434